

### 令和2年度を振り返って

今年度はコロナ禍の中で、手かせ・足かせ状態を強いられ、特に上半期は予定した行事や活動の中止を余儀なくされ、苦しい期間でした。しかし見方を変えてみて、平常時には薄かった危機管理意識を十二分に自覚できたと考え、コロナには負けないとの思いで活動を続けています。

そこで今年度を振り返り、コロナ禍での活動を時系列のダイジェストで報告致します。

#### 1. 令和2年 6/27 育成会スポーツクラブ「ダンスクラブ」を創設

ダンスの指導は、

S.O.P、エンターテイメント代表 の酒井 武 氏



#### 2. 7/6 市福祉課、上越4育成会と上越保健所とコロナ対応の話合い

#### 3. 7/15 上越市議会 新型コロナウイルス調査対策委員会 医療・福祉部会と上越4育成会との討論会

ご出席いただいた市議会議員の方々は

- ・石田 裕一 氏 ・杉田 勝典 氏 ・牧田 正樹 氏
- ・渡辺 隆 氏 ・小林 和孝 氏 ・中土井かおる 氏



#### 4. 7/21 上越地区育成会と県立中央病院感染制御実践看護師で障害児者の感染時の対応を話し合い

#### 5. 8/24 妙高市で、支援が必要な学童の保護者を対象とした「ペアレントトレーニング講座」を実施

- ・会場 : 妙高市いきいきプラザ
- ・講師 : 十日町市立ふれあいの丘支援学校  
教頭 山田 聡 氏

※ペアレントトレーニングとは : 発達障害を持つ子の親を対象とした子供の行動を変える  
テクニックを身につけるためのトレーニング



#### 6. 8/27 上越市議会女性議員 7名と上越4育成会で現状課題・施策について話し合い

女性議員7名全員出席いただきました

テーマ毎でグループ討議を行いました



全体での討論会



7. 9/27 本人の社会見学会 上越市立水族館「うみがたり」の見学

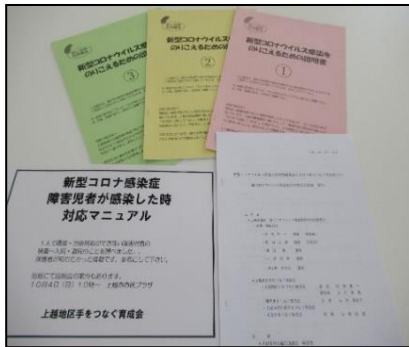
8. 10/4 上越地区手をつなぐ育成会が独自に作成した「一人で入院が出来ない障害児者がコロナに感染した場合の対応マニュアル」を即活用できる様に、解説講座を開催

この独自作成のマニュアルについては

＊全国手をつなぐ育成会連合会の月刊誌「手をつなぐ」9月号に掲載されました。

＊新潟日報の3年2月10日の紙面に掲載されました。

＊10/23高田特別支援学校 PTA の依頼で講座開催



今までに配布した対応資料



解説講座



高特PTAよりの依頼講座

9. 10/7 心身障害者福祉団体連合会(上越市4育成会加盟)と上越市議会 厚生常任委員袋との意見交換会の実施

10. 10/11 親子ハイキングの実施(大湯水と森公園)



準備運動後ハイキング班と調理班に分かれて活動



調理班の作ったとん汁で楽しい昼食

11. 11/3 土曜学校 ウクレレ・ギター演奏とダンス教室(福祉交流プラザ体育館)

浦川原音楽協会 ”With U “ の皆様をお招きしました。



ウクレレ・ボーカルは浦川原育成会 副会長 (上越市議) の石田 裕一 氏

## 12. 11/21 第4回 親亡き後の問題解決対策講座

◎権利擁護(相続を中止として)

きたしろ相続相談センター理事長  
荒木 新 氏



◎看取り(看取り、葬儀、お墓の管理等)

平安セレモニー株式会社執行役葬祭事業部長  
松本 学 氏



## 13. 各種学校からの依頼による進路選択に必要な情報提供出張講座

- (1)、9/28 妙高市立新井中央小学校 PTA
- (2)、10/23 高田特別支援学校 PTA
- (3)、10/28 新井中央小学校
- (4)、11/27 吉川高等特別支援学校
- (5)、R3, 2/10、上越市立城西中学校



## 14. 11/22 心身障害者福祉団体連合会 会長会議

加盟団体 肢体不自由児者父母の会が解散・脱会表明

## 15. 12/7 国(厚生労働省)への働きかけ

\* 2022年(令4年)4月1日より『親権は18歳まで』となる問題 \*

「字が書けない、理解力・判断力が極度に弱い」学童が特別支援学校を卒業後

・通う事業所との契約及び本人の預貯金通帳の作成はだれが行う? …の問題が浮上

制度上は、「後見人をたてる」ですが学校や大半の学童の保護者には認識しておらず混乱の恐れあり。

そこで、当会顧問の高鳥修一衆議院議員を通して厚生労働省の担当者に「特例を設ける」提言を行った。

答えは……………障害を理由に特例を設ける事は、人権問題に抵触する との趣旨でした。

そこで、高鳥修一衆議院議員より助言をいただき

当会の最上部団体である、国とのパイプ役である全日本手をつなぐ育成会連合会を通して再度国に働き掛けてもらう事となり、申請をし回答を待っているところです。

## 16. 12/12 年末お楽しみ会 … 手品とダンス 福祉交流プラザ 体育館

## 17. r3.1/12 上越市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画(案)に対し9項目に関しパブリックコメントを提出

3/8付で回答はいただいたが、残念ながら内容は大変不満足なものでした。

## 18. 妙高市で妙高市版 支援が必要な子の将来の姿を考える講座 を開始

### (1) R3、2/7 第1回講座 … 卒業後の就労を視野にの進路選択

講師陣

\*障害児者相談支援センターかなや 相談専門支援員 平原 朝子 氏

\*障害者就業・生活支援センターさくら 所長 樺澤 聡子 氏

\*赤倉観光リゾート&スパ 人事管理マネージャー

障害者職業生活相談員 郷戸 孝子 氏

\*高田南城高校 特別支援教育コーディネーター 永井 春子 氏

\*社会福祉法人 ほっと妙高 理事長 大野 俊哉 氏



講師の個別講座

### (2)、2/28 第2回講座 … 学校教育内での進路選択

講師陣

\*妙高市教育委員会子ども教育課特別支援教育指導員 奈良岡 裕 氏

\*新井中央小学校 特別支援コーディネーター 引場 陽子 氏

\*妙高市立総合支援学校 校長 石崎 隆 氏

\*上越特別支援学校 校長 福田 功 氏



ディスカッション

## 19. 同じ立場の相談室 活動

(1) 今年度は、個別、グループ、及び団体等での相談で延べ149名の方々と関りがありました。特に困難な事例の場合は、市内の有能な相談員に直接繋ぎ問題解決を図って参りました。

(2) 相談活動を行ってみて感じたこと

1) 学童期の保護者は、日常の困り事が多い。また、制度や福祉に関する認識が浅く、だれに相談したら良いか分からず漠然とした不安を抱いている。

2) 青年・壮年期の保護者は、親亡き後を主とした漠然とした内容の不安が多い。また、本人の自立への次のステップを進めると、なかなか「子離れ」が出来ないのか踏み出せない方が多い。



## 20. みようこう茶話会 毎月第3火曜日 妙高市いきいきプラザにて

昨年、妙高市内の障害児者の保護者からの依頼により、「困り事を気楽に話せる場所」として創設しました。この事が講座開催などの次へのステップにと繋がって来ています。

## 21. 上越地区手をつなぐ育成会のホームページ

一昨年上越地区育成会のホームページを立ち上げました。まだまだ不完全ではありますが、時々目を通していただき、いろいろなご意見やご指導がいただけると幸いです。

また今後は、このホームページを活用して連絡、報告、情報提供等の発信体制創りに取り組んでいく事にしています。